

石だたん



全戸配布です

インフォメーション

鮎鮎街道
笠松へ

笠松町文化協会からのお知らせ

鮎鮎の授業を開催

1~2月に笠松町内3つの小学校5年生の児童に向けて、鮎鮎と鮎鮎街道の授業を高木敏彦先生（元笠松小学校長）にいただきました。歴史を学んだ後は法被を着て荷を担いでみたり、「松廣」さんが作ってくださった鮎鮎の試食もしました。「美味しい！」「無理～食べれん」子ども達の感想は色々。鮎鮎ウォークに参加してくれるといいですね。

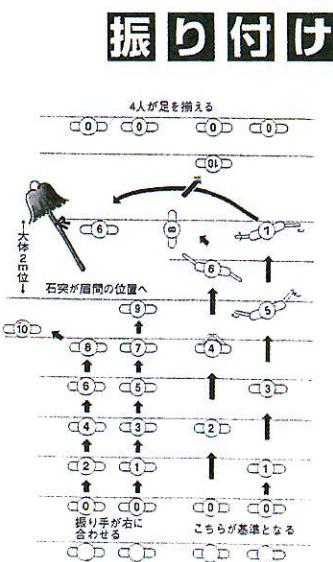


今年も開催！ 鮎鮎街道ウォークin笠松

毎年恒例になっている『鮎鮎街道ウォークin笠松』を今年も開催します。江戸時代に岐阜から江戸まで鮎鮎を献上する為に多くの人々が宿次場から次の宿次場まで運んで行った鮎鮎。ちょっとだけ一緒に歩いてその時代を想像してみませんか。福祉会館から笠松みなと公園まで歩きます。6月7日 14時集合～15時頃笠松みなと公園到着。セレモニーの後、鮎鮎と鮎鮎炊の振る舞いがあります。



大名行列お奴 足運び説明図



「大名行列お奴」は文化財

（岐阜県無形民俗文化財指定）

江戸時代、大名のいない笠松には、美濃郡代笠松陣屋（美濃地方を治める役所）がありました。

文久元年（一八六一）皇女和宮が京都から中山道を利用して將軍家茂のいる江戸に下る降嫁行列がありました。

時の第二四代美濃郡代岩田鋏三郎は、笠松村の住民とともに、「奴役」、「道具運搬」、「火消し」を中山道五四番目の宿場「河渡宿」（岐阜市）に大量派遣しました。これが笠松村の祭礼に奉芸され定着していったということです。

「大名行列お奴」の一番の見ものは、毛槍振る「奴の振り」と足運びです。これが平成七年（一九九五）岐阜県の無形民俗文化財に指定されました。

毎年、四月上旬の日曜日の笠松春祭りの本まつりで披露されます。

保存会では参加する人を募集していますので、挑戦してはいかがでしょうか。

第28回かさまつ文化祭が開催されました

- ・作品展示：2025年11月28日～12月8日
- ・文芸祭賞 教育長賞 入選作品を笠松中央交流センター1階にて展示
- ・笠松町及び岐南町の中学校・小学校の生徒児童により短歌・俳句・川柳・詩の作品に多数の応募がありました。
- ・応募点数
短歌630首 俳句1,149句 川柳383句 詩377首 (総数2,539作品)



短歌・俳句の展示

詩の展示



教育長賞の授与

☆文芸祭賞・教育長賞

〔生徒の部〕

- 短歌（文芸祭賞）永見恵新（教育長賞）山本樂世
- 俳句（文芸祭賞）小関巧葉（教育長賞）松石梨愛奈
- 川柳（文芸祭賞）尾関愛由麻（教育長賞）古田楓
- 詩（文芸祭賞）南谷康太（教育長賞）杉浦大智

〔児童の部〕

- 短歌（文芸祭賞）尾関修志（教育長賞）市原心陽
- 俳句（文芸祭賞）杉江姫奈（教育長賞）杉山慶成
- 川柳（文芸祭賞）久保慶治朗（教育長賞）岩田れの
- 詩（文芸祭賞）後藤玲羽（教育長賞）坪内彩華



文芸祭賞の授与

第29回 かさまつ文芸祭作品募集

本年度も6月より羽島郡小中学校へ募集案内致します。奮ってご参加下さい。

にぎやかに!

華やかに!

かさまつ文化フェスタ 2025

2025年12月7・8日 開催
笠松町文化協会の会員が
日頃の成果を発表



今年のテーマは「秋」

3階大ホールで



岐阜児童合唱団
美しい歌声 元気な歌声!



笠松マジッククラブ
あらら不思議!



尺八華山会
女性の尺八奏者ステキ!



羽島箏教室(萌芽会) 子どもたち 真剣な表情で一生懸命



大正琴敬愛会 よく揃った大正琴の演奏



笠松民謡同好会 尺八・三味線・太鼓に合わせて!



笠松おばばの会
横笛の精一杯の演奏



愛琴会 迫力ある大正琴のステキな演奏



岐陽会の詩吟
声を出すのは身体にいいネ!



鍵盤ハーモニカ演奏
新しい演奏スタイル
東京から!

1階集会室で



彩画会 思わず見入って!



笠松を語り継ぐ会
「かさまつ秋」



笠松盆栽会
見事なお手入れの作品の数々

2階ロビーで



若き笠松の芸術家たち



招待作品

杉山武彦さんの作品



個人作品写真と絵画
創造集団『Do』の写真
日比野社中の生花



奈良津俳句会 季語「秋」



笠松の文化を支える人々

3階ロビーで

茶席 日比野社中

梅乃井さんの
創作菓子



「日曜ファミリー講座」の紹介

今年は
12月6・7日開催
テーマは **紅** です

お好きな本をどうぞ!